言語学概論 FALL 2016 #3 / 大阪大谷大学

歴史言語学

ウェブページ

- http://asaokitan.net/courses/otani_fall2016/

予定

9/16	イントロダクション／世界の言語
9/23	類型論
9/30	歴史言語学
10/7	日本の言語
10/14	（休講予定）
10/21	日本の言語（つづき）

言語の変化

ら抜き言葉

佐野 (2011) による日本語話し言葉コーパスの調査

- http://www.news24.jp/articles/2016/09/21/07341613.html

- 記述主義 vs. 規範主義

高齢者がら抜き言葉を使う地域

これは何語？

Hwæt! Wé Gárdena in géardagum
þéodcyninga þrym gefrúnon
hú ðá æþelingas ellen fremedon
Oft Scyld Scéfing sceaþena þréatum
monegum maégþum meodosetla oftéah
egsode Eorle syððan aérest wearð
féasceaft funden hé þæs frófre gebád
wéox under wolcnum weorðmyndum þáh
oð þæt him aéghwylc þára ymbsittendra
ofer hronráde hýran scolde,
gomban gyldan þæt wæs gód cyning.

言葉はなぜ変化するのか

- 新しい事物について話すため
- 言語内的な要因。発音を楽にしたい、覚えきれない活用は単純化したい、言葉を重ねて強調したい、といった力が働く。
- 言語接触。より威信のある言語の影響を受けるなど。

歴史比較言語学

英語とフランス語の比較

英語	フランス語
father	père
fish	poisson
foot	pied
for	pour
few	peu
first	premier

音韻変化

- 言語学で方法論の厳密化が最初に成功した領域
- 「音法則に例外なし」

グリムの法則

- **インド・ヨーロッパ語族**のうち、**ゲルマン諸語**への分岐で生じた音変化の法則
  - 現存するゲルマン諸語…英語、ドイツ語、オランダ語、デンマーク語、ノルウェー語、スウェーデン語、アイスランド語など

グリムの法則

- $*b^h > b$, $*d^h > d$, $*g^h > g$
- $*b > p$, $*d > t$, $*g > k$
- $*p > f$, $*t > \theta$, $*k > x$

グリムの法則：例

印欧祖語	英語	ラテン語	派生語が英語に借用された例
*p′ōs 足	foot 足	pes 足	pedal ペダル
*ph₂t´ēr 父	father 父	pater 父	paternal 父の,父方の
*tréyes; *tri- 3	three 3	tres 3	triangle 三角形
*ters- かわいた	thirst のどのかわき	terra 土地	territory 領地
*ḱm̥tóm 100	hundred 100	centum 100	century 世紀
*ḱwó イヌ	hound 猟犬	canis イヌ	canine イヌの

言語の比較と言語の系統

- 複数の言語があったとき、**基礎語彙**の**規則的**な音対応を調べることで、共通の先祖から分岐したことを示せる

注意

- 借用語は証拠にはならない
  - 「ケーキ」とcake、「ボタン」とbutton、「アイフォン」とiPhoneなどが似ているので日本語と英語は同一起源！
- 偶然似ているものは必ずあるので、規則性なく「なんとなく似ているもの」をいくら並べても証拠にはならない
  - 「名前」とname、「道路」とroad、「すいすい」とswimなど、なんとなく似てるので日本語と英語は同一起源！

日本語と宮古語の比較

日本語	琉球宮古語(平良方言)
頭 atama	kanamaɿ
顔 kao	mipana
目 me	mii
鼻 hana	pana
耳 mimi	mim
口 kuti	futɿ
手 te	tii
足 asi	pagɿ

日本語と韓国語は同系か?

日本語	韓国語
高速道路	고속도로
図書館	도서관
二酸化炭素	이산화탄소
微妙な三角関係	미묘한 삼각관계

日本語と韓国語の比較

日本語	韓国語
頭 atama	머리 meli
顔 kao	얼굴 elkwul
目 me	눈 nwun
鼻 hana	코 kho
耳 mimi	귀 kwi
口 kuti	입 ip
手 te	손 son
足 asi	발 pal

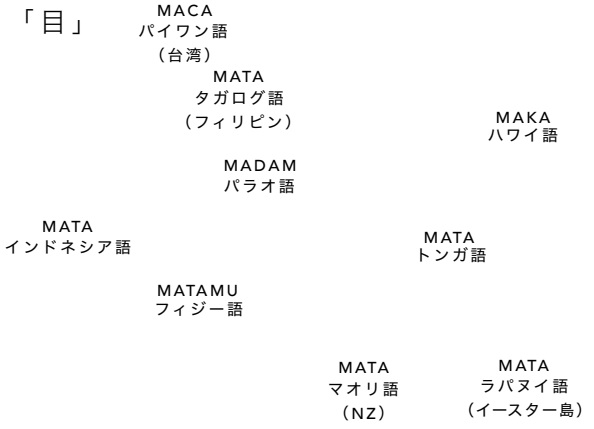
語族

- 歴史的な系統関係が証明された言語の集まりを**語族** (language family) という
  - 語族は人間ではなく言語の集まり。
  - 民族と一致するとは限らない。

語族

オーストロネシア語族の場合

「目」



リアクションペーパー

- 「ら抜き言葉は間違いだ。使うべきではない」と言う人がいます。
  - あなたはどう思いますか？
  - 言葉は変化するもの、と言うのは簡単ですが…
- そのほか、感想・コメントを自由に書いてください。